



# SHINZU

「まちに気づく まちを築く とから清水 ～想いをミライに繋ぐまち～」



特集

みんなで“きづく”まち

ゆうえる ～希望を胸に56人が新たな道へ～第74回清水町二十歳の祝典

写真 二十歳の祝典に出席した新成人のみなさん

**A** 猟友会で常時対応しているため、町で雇用することは考えていません。【農林課】

有害鳥獣駆除については、猟友会と委託契約を結んでいます。猟友会では、現在31名の駆除員が常時対応しているため、現時点で町で人を雇用することは考えていません。【農林課】

**Q** カラスとアライグマの鳥獣被害が甚大。町で常時対応できる人を雇用できないのか。




## みんなで“きづく”まち

昨年7月から11月にかけて、町内各種団体と14の地域で「まちづくり懇談会」を実施しました。

その際にいただいたご意見と町の回答をご紹介します。

「自分はこう思う！」ことなどがありましたら

企画課企画統計係（☎62-2114）までご連絡ください。

みなさんの“気付き”で、今後の町政を“築き”ましょう。



※意見と回答は抜粋・要約して掲載

**Q** 音楽のまちとして、演奏機会を設けて欲しい。

清水町を、音楽のまちとして盛り上げるために、演奏できる機会を設けて欲しい。

**A** 意向を伺いながら機会を設けます。

今年度のしみず吹奏楽団事業では、2回の発表機会を設けました。今後も参加者の意向を伺いながら機会を設けていきます。【社会教育課】

**Q** 人口を増やすために、宅地分譲はできないのか。



**A** 住宅用地を分譲予定です。

Aコープ御影店前の土地を住宅用地として分譲予定です。公営住宅の在り方や適正な住宅戸数などについても検討を進めます。【総務課・建設課】

**Q** ハーモニーペイの普及を推進して欲しい。



**A** 推進につながる制度を検討します。

次年度の商品券事業などで、ハーモニーペイ利用者にプレミアム分が手厚くなるような制度を検討します。【商工観光課】

**Q** ワインロードの整備をお願いしたい。

小学校へ行くワインロードの舗装が、ガタガタになっているため直して欲しい。

**A** 安全な道路整備を検討します。

破損が大きな箇所は、部分補修を実施します。今後、児童の安全を優先した道路の在り方を関係者で協議します。【建設課】

**Q** 相続人不明とならないように、事前の相談体制はあるのか。

相続人不明で、空き家などが手に負えなくなる前に、役場で取り組んでいることや相談できる体制はあるのか。

**A** 社会福祉協議会へご相談ください。

終活を含む権利擁護支援事業や成年後見人制度について、社会福祉協議会で相談に応じていますので、お気軽にご利用ください。【保健福祉課】

**Q** 町民ツアーは、来年度も実施されるのか。



**A** 令和6年度まで実施する予定です。

渋沢栄一翁ゆかりの地を訪問し、渋沢栄一翁の教えに触れることで町民が町の歴史への理解と郷土愛を深めるため、新一万円の発行年までは継続して実施する考えです。【企画課】

**Q** 小中学校は、将来的に「貫教育」となるのか。



**A** 令和7年度からを目指しています。

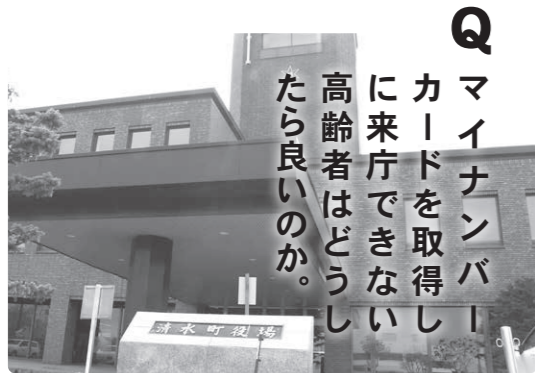
小中学校9年間の教育を通して、基礎学力・体力や感性豊かな子どもの育成を図るため、清水・御影地区ともに令和7年度からのスタートを目指しています。【学校教育課】

**Q** 新体育館は、将来を見据えて建設して欲しい。

新体育館は、将来を見据えた建設をして欲しい。合宿など呼び込むような施設もあると良いと思う。

**A** 合宿の受け入れなど検討中です。

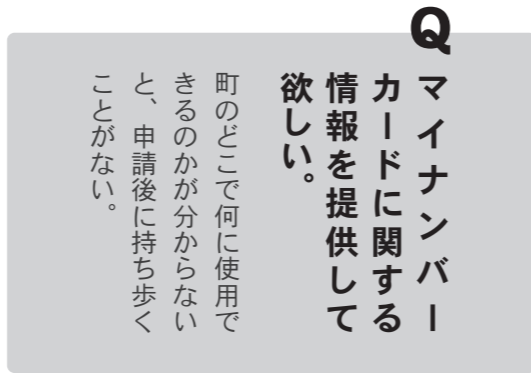
町では合宿施設は検討していませんが、民間施設などを活用した合宿受け入れや送迎支援などを検討していきます。【社会教育課】



**Q** マイナンバーカードを取得しに来庁できない高齢者はどうしたら良いのか。

**A** 買い物・銀行バスをご活用ください。

原則 65 歳以上の方で交通手段にお困りの場合は、社会福祉協議会が運行する買い物・銀行バスを無料で利用できますので、ご活用ください。【町民生活課】



**Q** マイナンバーカードに関する情報を提供して欲しい。

町のどこで何に使用できるのかが分からないと、申請後に持ち歩くことがない。

**A** 国の方針が決まり次第、周知します。

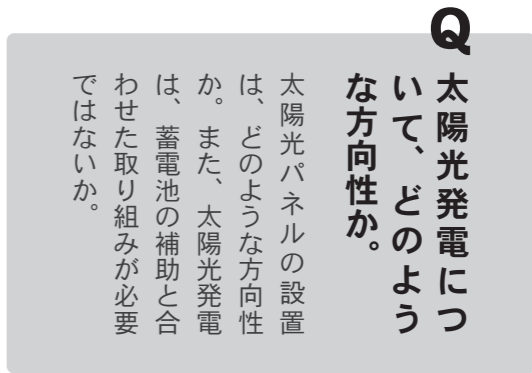
国は今年 3 月末までに医療機関などの大半にマイナンバーカード読取機を設置してもらう方針です。その後、利用できる町内医療機関などの活用方法を周知します。【町民生活課】



**Q** 将来的な人口は、どうなるのか。

**A** 推計では 2045 年に約 6,700 人です。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、2045 年に 6,700 人程度です。町は 7,500 人の維持を目標に、人口減少対策を進めます。【企画課】



**Q** 太陽光発電について、どのような方向性が。

太陽光パネルの設置は、どのような方向性か。また、太陽光発電は、蓄電池の補助と合わせた取り組みが必要ではないか。

**A** 国の動向を見ながら調査検討します。

現在、再エネ導入戦略策定業務において、太陽光の利活用を調査検討しています。今後、国の動向を見ながら、太陽光パネルや蓄電池の普及について検討します。【企画課】

**【期間限定】 郵便局申請**

下記期間まで、町内 4 カ所の郵便局でマイナンバーカードの申請が行えます。来場時に申請用写真を無料で撮影します。

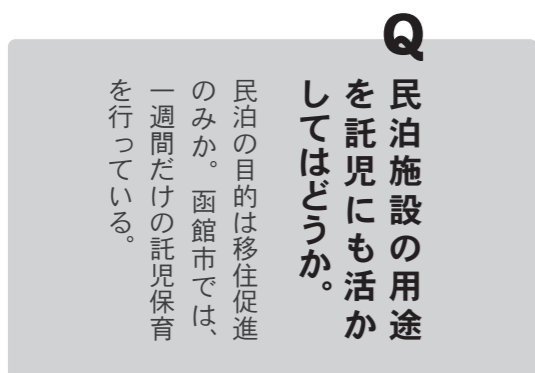
**期間** 3月31日(金)まで  
9:00～17:00  
土・日・祝日を除く

**会場** 清水郵便局・御影郵便局  
人舞郵便局・熊牛郵便局

**【夜間休日臨時窓口】**

マイナンバーカードの申請・受取・マイナポイントの申込が夜間や休日に行えます。

【夜間】臨時窓口	【休日】臨時窓口
<b>日時</b> 2月22日(水) 17:30～20:00	<b>日時</b> 2月25日(土) 2月26日(日) 9:00～17:00
<b>会場</b> 役場町民生活課 御影支所	<b>会場</b> 役場町民生活課 御影支所



**Q** 民泊施設の用途を託児にも活かしてはどうか。

民泊の目的は移住促進のみか。函館市では、一週間だけの託児保育を行っている。

**A** 事例を参考に検討します。

ワーケーションと子育てを結び付けるのは、良いアイデアだと思うので、先進事例を参考に検討します。【商工観光課】



**Q** 牛乳の消費拡大について、何か方法はないのか。

**A** 引き続き牛乳消費拡大運動を実施します。

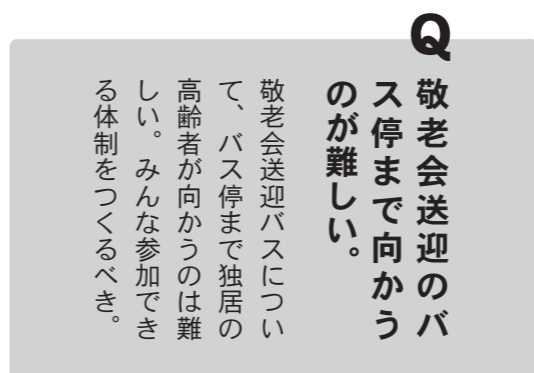
全国的な取り組みが必要と考えています。町としては、引き続き農協と連携して、牛乳消費拡大運動を実施します。【農林課】



**Q** 経費削減へ向け、水道検針を2か月に1回にすることをスマートメーターを取り入れられないのか。

**A** 毎月の検針が有効です。スマートメーターは試験中です。

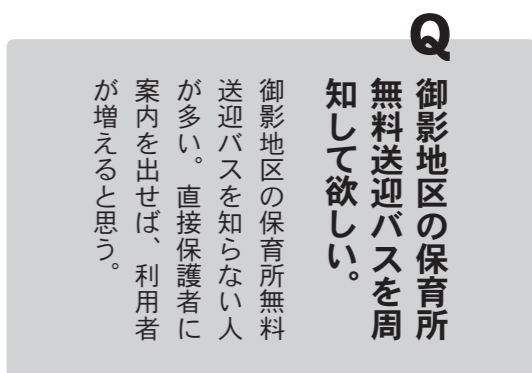
2か月に1回の水道検針は、検針コストは下がりますが検針1回に対する使用者の負担が増えるため、毎月検針を行い料金をお支払いいただくことが使用者にとって利便性が高いと思っています。スマートメーターは、現在試験中で、導入時期は未定です。【水道課】



**Q** 敬老会送迎のバス停まで向かうのが難しい。

**A** 個人宅への送迎は難しい状況です。

バスでの個人宅への送迎は難しいと考えています。社会福祉協議会が運行する買い物・銀行バスを利用して参加されている方もいますので、ご活用ください。【保健福祉課】



**Q** 御影地区の保育所無料送迎バスを周知して欲しい。

御影地区の保育所無料送迎バスを知らない人が多い。直接保護者に案内を出せば、利用者が増えると思う。

**A** 今年度の該当者には直接周知しています。

入所面談などを通じて、該当者に周知し利用の有無を確認していきます。【子育て支援課】

## ふれあいトーク(出前講座)のご案内

町内で生活する中で、「ごみの分別の仕方がよく分からない…」、「防災について知りたい」、「福祉や子育てサービスにはどんなものがあるの？」など、みなさんの疑問に対し、町職員が直接お話しします。下記事項をご確認のうえ、ぜひお申し込みください。

【申込対象】町内に在住、在勤している5人以上の団体・グループ

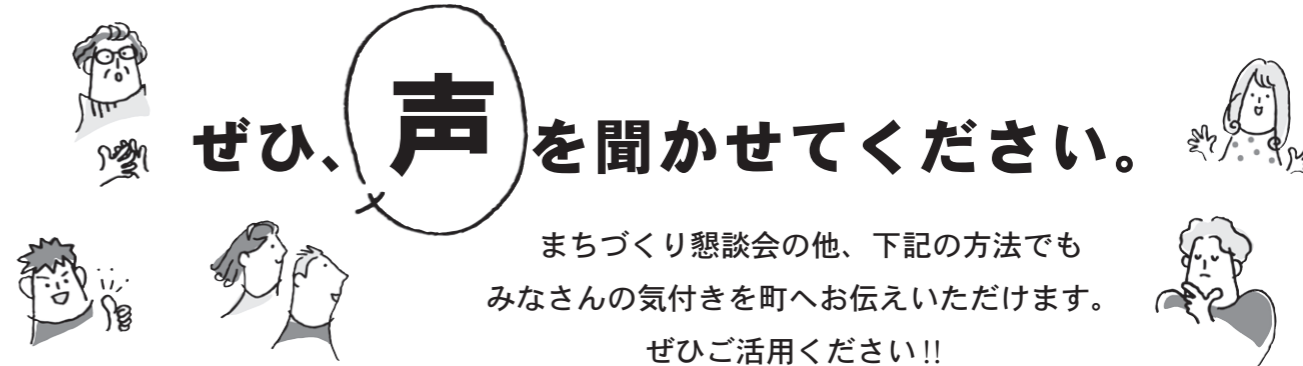
【内 容】下表からテーマ名を選択

【開催日時】平日 10時～21時までの2時間以内

【申込方法】開催したい日付の2週間前までに企画課広報広聴係(☎62-2114)へお申し込みください

【その他】会場手配、参加者案内、当日進行は申込者が対応  
※新型コロナウイルス感染症予防対策にご配慮願います

番号	テ マ 名	担 当 課
1	まちの台所事情 ～財政状況について～	総務課
2	情報公開制度について	総務課
3	まちの防災について	総務課
4	清水町総合計画の概要について	企画課
5	「清水町まちづくり基本条例」の概要と取り組みについて	企画課
6	町民税・固定資産税・納税のしくみについて	税務課
7	水道と下水道のしくみについて	水道課
8	道路と河川の整備状況について	建設課
9	公営住宅の現状と建替計画について	建設課
10	国民年金制度について	町民生活課
11	戸籍・住民票・印鑑証明制度について	町民生活課
12	交通安全と防犯対策について	町民生活課
13	ごみの分別とリサイクルについて	町民生活課
14	国民健康保険制度の概要について	町民生活課
15	後期高齢者医療制度の概要について	町民生活課
16	在宅福祉サービスについて	保健福祉課
17	介護保険制度の概要について	保健福祉課
18	生活習慣病の予防について	保健福祉課
19	健康づくりは食生活から～子どもからおとなまで～	保健福祉課
20	認知症について(認知症サポーター養成講座)	保健福祉課
21	子育て支援について	子育て支援課
22	農業振興のための支援について	農林課
23	移住・定住支援について	商工観光課
24	商業振興のための支援について(企業誘致・企業支援を含む)	商工観光課
25	観光振興について	商工観光課
26	幼稚園、保育所・小学校の連携について	学校教育課
27	食育(給食センターの取り組み)について	学校教育課
28	社会教育活動のすすめ	社会教育課
29	農地の売買及び賃借の方法について ～農地法の概要～	農業委員会
30	地震・火災から身を守るために	消防署
31	知っておきたい応急手当について	消防署



### 町民の声ポスト (広報レター)

毎年、広報しみず4月号と10月号に折り込んでいます。役場や御影支所などに設置しています。まちづくりへの要望や意見などを、広報レターに書いて郵送してください。  
※用紙に氏名・住所の記載がある場合のみ、回答を返信しています。匿名の場合は回答できませんので、郵送前に氏名・住所の記載をご確認ください。

【問い合わせ】  
企画課広報広聴係  
(☎62-2114)



### 町民と町長の ふれあいトーク

阿部町長と直接お話しすることができ、毎月月上旬に実施しています。日程は広報しみずお知らせ版に掲載していますので、ご確認ください。  
※事前予約が必要です。下記問い合わせ先に①氏名・人数、②希望時間帯、③トークの概要、④トークの方法(対面・電話・リモート)をお知らせください。

【問い合わせ】  
企画課広報広聴係  
(☎62-2114)



### 町ホームページから お問い合わせ

町ホームページには、お問い合わせフォームがあります。必要事項を記入して、下記QRコードからお気軽にお送りください。  
※氏名・住所・メールアドレスなどを正確にご入力いただける場合は、回答を返信しています。正確に入力されていない場合は回答できませんので、送信前に氏名などをご確認ください。

【問い合わせ】  
企画課広報広聴係  
(☎62-2114)



### パブリック・コメント (町民意見提出制度)

政策などを立案する過程で、政策案をみなさんへ公表します。その案に関する意見や提言を公募し、みなさんの意見を考慮して意思決定を行います。いただいた意見などへの町の考え方は、町ホームページで公開しています。  
※公募する際は、町ホームページや広報しみずお知らせ版などで周知します。

【問い合わせ】  
企画課企画統計係  
(☎62-2114)



図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

貸出ベスト10  
(同率あり)

発表！2022年貸出ベスト10！

ウクライナ侵攻という衝撃的なニュースの一方、全国旅行支援で観光地が賑わうなど、明るいニュースもあった2022年。皆さんはどんな本を読みましたか？

町図書館では、本屋大賞受賞作の人气が高く、貸出ベスト10のうち6冊が本屋大賞受賞作でした。

また、昨年の貸出1位『お探し物は図書室まで』に引き続き、青山美智子さんの著作が2年連続1位となり人気を集めました。



1位の『赤と青とエスキース』は、1枚の絵画をめぐる人々を描いた連作短編小説。思わず2度読みたくなる仕掛けが…。

- 第1位 『赤と青とエスキース』 青山美智子著 (2022年本屋大賞2位)
- 第2位 『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂冬馬著 (2022年本屋大賞1位)
- 第2位 『スモールワールドズ』 一穂ミチ著 (2022年本屋大賞3位)
- 第2位 『三千円の使いかた』 原田ひ香著
- 第2位 『鑑定人 氏家京太郎』 中山七里著
- 第6位 『硝子の塔の殺人』 知念実希人著 (2022年本屋大賞8位)
- 第6位 『星を掬う』 町田そのこ著 (2022年本屋大賞10位)
- 第6位 『どうぶつのかからだ 2』 増井光子監修
- 第9位 『夜が明ける』 西加奈子著 (2022年本屋大賞6位)
- 第9位 『無明』 今野敏著

しみず教育の四季

冬～厳しさに生きる人の中で共に磨く  
冬季スポーツ「スケート」に親しみ楽しんで！

朝夜の寒い中、保護者や先生方、地域の方々にご協力いただき、清水小学校と御影小学校にスケートリンクが造成され、冬休み期間には子どもたちや地域の方々、少年団などの多くの人々が利用していました。3学期も体育の授業や少年団の練習、土日や放課後に多くの方が、安全にスケートができるよう散水や除雪等の維持管理にご協力をお願いいたします。

ぜひ、子どもたちをはじめ、多くの皆さんにリンクを利用していただき、冬季スポーツのスケートを楽しみ、上手になってほしいと思います。



清水小学校 スケートの授業  
平らなリンクで元気にスケートの学習をしていました。



御影スケート少年団の練習  
冬休み中、滑走できることに感謝し、練習に汗を流していました。

新着図書からピックアップ



『おうちくん』  
カワダクネコ著  
隣り合っている黄色と赤色のおうちは友だちで、おうちの住人同士も仲良く暮らしていました。

ところが、赤色のおうちの家族が引っ越し、空き家になり取り壊されてしまい…。

長年愛されている名作『ちいさいおうち』を思い出すような、別れと再会を優しいまなざしで描いた絵本です。

- 『恩送り』 麻宮好著
- 『見果てぬ王道』 川越宗一著
- 『風の値段』 堂場瞬一著
- 『妖の絆』 誉田哲也著
- 『罪の境界』 葉丸岳著



おすすめの本・新着図書の情報などは、図書館ホームページからご覧いただけます！ホームページは左のQRコードまたは「十勝 清水 図書館」で検索してみてください！



思い出の写真をみんなで

～希望を胸に56人が新たな道へ～  
第74回 清水町二十歳の祝典

1月8日、新名称となった「第74回清水町二十歳の祝典」が開催され、新成人56名が参列しました。

開式前には、華結びの会による着付けが希望者に行われ、会場入口には清水町華道連盟とこども生け花教室の皆さんによるお祝いの生け花が飾られました。

式典は「箏曲文杉会」の皆さんによる祝賀演奏で始まり、主催者の阿部一男町長から「自分を信じて道を切り開き、力強く生き抜いてほしい」と式辞が新成人へ贈られました。

参列者を代表して坂上柊平さんが社会人としての義務と責務を果たすことを宣誓し、大山凌芽さんが町民憲章を朗唱しました。

また、開町120年を記念して町が制作したビデオを上映。その後、参列者の中学生時代の担任から、二十歳のお祝いと励ましのメッセージビデオが上映され、会場は歓声と笑みで溢れていました。

答辞では若原颯汰さんが、「明るい未来の創造を目指し、力強く成長し続けることを誓います」と述べ、式典が終了しました。

式典終了後、大集会室に「撮影スポット」が設置され、参列者は久しぶりに会った友達と楽し気に撮影していました。



宣誓で誓いを新たに



答辞で決意を胸に



祝賀演奏の様子



受付時の様子



2席間けて感染対策を

裕から心のゆとり・やすらぎ、豊かな心を身につけようという意味が込められています。のそれぞれの頭文字L(える)と、日本語の「得る」という意味を持っています。

高齢者の『うつ病』と  
こころの『健康』

【問い合わせ】  
保健福祉課在宅支援係  
☎69-2233

■高齢者のうつ病の特徴

高齢者のうつ病は、こころの不調よりも身体の不調が目立つことが多いことから自覚しにくく、自覚できても家族に迷惑がかかるからと我慢してしまうことがあります。

また、認知症と症状が似ているため、間違われてしまうこともあります。ぼんやりとした表情やもの忘れの症状がみられる際、うつ病による集中力や記憶力の低下が原因のこともあります。

■うつ病予防のポイント

- ①生活リズムを整える  
規則正しく生活して生活のリズムを整え、1日3食しっかり食事を摂りましょう。
- ②つらい気持ちを話す  
不安やイライラする気持ちを話すことで、気持ちを整理できたり、解決できたりします。
- ③ゆとりある生活を送る  
何事も完璧ではなく、八分目くらいが丁度いいと考えるようにしましょう。

また、頑張りすぎず、気持ちに余裕をもたせることも大切です。

■趣味や運動を楽しむ

自分の得意なことや、楽しいと思える趣味や活動を行い、日頃から運動を取り入れ、足を鍛えておくことも大切です。

⑤たくさん笑う

こころの余裕を失うと笑いは少なくなり、無表情になりがちです。笑いによって自律神経のバランスを整えたり、免疫力を正常化させたりする効果があります。

■うつ病のサイン診断

- 毎日の生活に充実感がない
- 以前は楽にできていたことが、いまではおっくうに感じる
- 自分が役に立つ人間だとは思えない
- わけもなく疲れたような感じがする

※2項目以上が、2週間以上毎日続いている場合は要注意です。医師や保健師等に相談してください。

清水歴史探訪 【29】  
『清水町の歴史あれこれ③』  
『米田勝次郎のホネオツプ開墾記』

いも喰って  
妻と拓いたかぼちゃ畑

昭和50年6月、羽帯で農業を営む米田勝次郎は『ホネオツプ開墾記―羽帯を拓いた人々―』を上梓しました。

米田は、明治36年11月1日、空知郡栗沢村(現在は岩見沢市)で生まれました。生後まもなく始まった日露戦争により一旦四国徳島に引きあげ、そこで尋常高等小学校を卒業し大正6年渡道、佐念頃駅に降り立ちました。そして、羽帯の地で開墾に汗を流しながら、通信教育で勉強しました。

ある日、冬の札幌の書店で一冊の本が目が止まります。それは坂本直行の『開墾の記』でした。同じ牛飼いの大先輩の開拓記録に引き込まれ、感銘を受けた米田は「自分

もこのようなものを書いてみたい」と思います。

「泣くにも泣けない苦悶の毎日。堪え忍んで働き続けてこられた先人の苦勞を思い浮かべるとき、尊い汗の滲み込んでいる開拓地の足跡を、俺たちはうかつに消してしまふようなことがあつては申し訳ない」と執筆を決意したので。

米田は冒頭の句について「これが開墾記に捧げる私のすべてである」と作者小伝の末尾に書いて筆を置いていきます。苦勞を共にした最愛の妻に捧げたこの書は、米田が羽帯に生きた人生の証でもあります。郷土史研究の大先輩が遺してくれた『ホネオツプ開墾記』は、何度も何度も繰り返し読みたくなる大切な記録です。



・文責 草野 和好  
(十勝清水郷土史研究会)

※1月号に掲載の清水歴史探訪【28】におきまして、下記のとおり誤りがありましたので、お詫び申し上げます。  
【誤】本文上段16行目「大正19年」⇒【正】「昭和19年」

健康  
最前線

『食品ロス』

もったいないを考えよう

皆さんは食品ロスという言葉を知っていますか？まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。今、日本だけでなく世界中で食品ロスを減らそうという動きが広がっています。

日本で出る食品ロスの量は、年間約600万トン程です。これは、国民全員が茶碗1杯分のご飯を毎日捨てているのと同じ量です。食品ロスは、色々なタイミングで発生しますが、その半分が家庭から発生しており、主な原因として、

- ①食べ残し
- ②賞味期限切れや買った食材を腐らせてしまう直接廃棄
- ③食べられる部分を過剰に取り除いてしまう過剰除去

があります。この中で最も多くの割合を占めているのが「食べ残し」です。

今は昔と違い食べ物が簡単に手に入るので、余るとすぐに捨ててしまいがちですが、世界の10人に1人が飢餓で苦しんでいます。他にも、好き嫌いで残してしま

うことはないですか？生産者の人や食事を作ってくれた人の気持ちを想像して食べることも大切です。

「もったいないから残さず食べよう」という言葉には、食べ物が無駄になるという意味の他に、感謝するという意味も込められています。食べきれない分だけ作る、まとめ買いは避けて必要な分だけ買う、残っている食材から使い切るなど、簡単なことから始めてみましょう。

また、食品ロスは環境問題にも影響しています。余った食材の処理にはたくさんの燃料が使われ、その時に排出される二酸化炭素が地球温暖化を進めています。地球を守るためにも、食べ物の無駄をなくすことは大切です。

最後に、食事をするうえで大切なことは楽しみながら食べるということです。美味しかったという気持ちをみんなでも共有することを忘れずに、食品ロスを減らしていきましょう。

HELLO BABY



吉田 めぐり ちゃん

お姉ちゃんと仲良く、  
元気に大きくなりますように!!



三雲 幸人 ちゃん

スクスク元気に  
育ってます!

人口 9,058人(+11)  
男 4,488人(+5) 女 4,570人(+6)  
世帯数 4,702(+17)  
令和5年1月末現在( )は前月比

2/16	木	■運転免許更新時講習(文セ 優良13時30分、一般14時30分、違反16時)	3/1	水	
17	金		2	木	■エントランスホール展「八木啓輔油彩画展 季節の中で」~30日まで(図書 10時)
18	土	■おはなし会(老人福祉センター 13時30分) ■歩くスキー講習会(有明公園多目的広場 10時)	3	金	
19	日		4	土	■男性の料理教室(保セ 10時)
20	月		5	日	■チャレンジ・ザ・ゲーム講習会(文セ 10時)
21	火		6	月	■移動献血車による献血(保セ 14時)
22	水		7	火	■移動献血車による献血(ハモ 13時30分)
23	木		8	水	
24	金		9	木	■町民と町長のふれあいトーク(役場 9時)
25	土	■おはなし会(図書 11時30分) ■歩くスキー記録会(有明公園多目的広場 10時)	10	金	
26	日		11	土	
27	月		12	日	■普通救命講習I(消防 9時~12時)
28	火		13	月	
			14	火	
			15	水	■除籍済み資料・雑誌の無料提供 ~20日まで(図書 10時~18時)

※新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校



優良永年勤続従業員表彰式にて

**町長の日記**

3年ぶりの商工会新年会  
1月27日、商工会新年会と優良永年勤続従業員表彰式が3年ぶりに開催された。  
新型コロナウイルス感染症の第8波もようやく沈静化に向かう中、ウィズコロナ政策も本年度3回目のプレミアム商品券の発売を間近に控えて、本町の経済回復の期待も高まってきている。  
また、優良永年勤続表彰では、吉田さんを始め14名の方々が表彰を受けたが、深刻な人手不足の中、町の経済の発展に貢献いただいていることに感謝。その後の懇親会は50名程が参加し、久々に笑顔が溢れていた。  
今年縁起が良いとされる兎年、商工会員の皆様の益々の商売繁盛を期待したい!

あしがき

■今月号の表紙・裏表紙を飾った二十歳の祝典では、みなさんが終始笑顔で過ごされていたのが印象的でした。保護者の方との写真を載せたかったため、積極的にお声がけしましたが、親子でお揃いのポーズをしてくださるなど、仲の良さが伝わってくる撮影となりました。快く撮影に応じてくださり感謝しています。役場職員も3名が出席し、晴れやかな姿を見せてくれました。(谷口)

■広報しみずでは、赤ちゃんの写真を掲載しており、町内で赤ちゃんがいるご家庭に写真の撮影や提供にご協力いただいています。そこで意外と知られていないことがあります。それは、広報係が撮影した写真データは差し上げることができるということです。ご希望される方は、データを入れる物(DVDやUSBメモリなど)をご持参のうえ役場2階企画課までお越しください。(中澤)

インフォメーション

誕生

矢野 権生(順一/梨奈)  
高橋 侑久(勇生/友希)  
山崎 萌夏(清志/河奈)  
若原 由奈(竜哉/千夏)  
松岡 隼輔(勇輔/美樹)  
平山 世菜(奨/史夏)  
澁谷 咲空(耕大/詩織)  
石川 勝明(曙)  
菊地 悦(下佐幌新生)  
喜多 啓一(下美蔓1)  
鷹野 治保(桂町)  
勝田 正美(富士)  
中村 富男(下佐幌平成)  
中村 一(さん)  
哀悼

広報モニターです

★表紙・十勝しみず第九合唱団・しみずフォトコンテストを始め、全体的にワクワクし、新年の喜びを表す内容となっている。写真の構成もとても良いと思う。  
★表紙の鮮やかな写真にびっくり。センスが光っていた。  
★まちのアルバム&できごと、吹き出しなどのコメントがあると、更に楽しく色々なことを思い返せそう。  
★大内田さんの書が素晴らしい。  
★卯年5年生のみなさん全員の表情が、生き生きとしていて好感が持てた。新年らしく良い企画だと思った。  
★新春企画の子どもたちの素敵な笑顔と抱負に元気をもらった。  
★チャレンジ・ザ・ゲームは、以前から町内の幅広い世代で楽しめるスポーツとして取り組まれていると思うが、

写真付きでの記事で大変分かりやすい。  
★チャレンジ・ザ・ゲームの紹介が面白そう。別の集まりでも紹介して欲しい。  
★図書館だよりで紹介された2022年のベストセラー3冊をぜひ読んでみたい。  
★障がい児教育に力を注いだ近藤兼市氏が、疎開先の御影地区に、ろうあ学校の教師児童が移り住んだことを知り、農志塾の理解が深まった。  
★近藤兼市氏が始めた「農志塾」が、現在の社会福祉法人清水旭山学園に引き継がれていることを知り、先人の思いをしっかり引き継いでいくことの責任も、まちづくりへの礎になると思った。  
★しみずフォトコンテストの写真が素晴らしい。大いに色々な面で活用して欲しい。  
★しみずフォトコンテストの全作品を、町内施設で展示会として開催して欲しい。最優秀賞作品を見て、清水の素晴らしいさを感じた。  
★冬は雪で道が狭くウオーキングが出来ないので、健康作りのために役場運動施設の情報があれば助かる。

ちようみん作品館

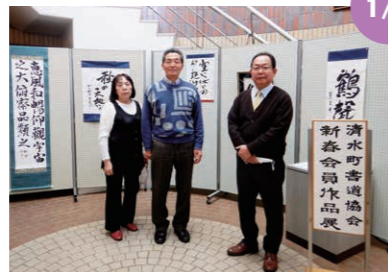
短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

**短歌**  
【玲瓏短歌会】  
独り居の未だ生活に慣れぬま、  
越冬野菜貯蔵し安堵す 田村徳子  
世界戦ハワイ奇襲より八十年  
末代までも平和たるべし 宗像三郎  
数日を重機忙わしく働いて  
今は静かに保育所の跡 大石 尚  
この秋は止めるとははずの漬物を  
いつしか並ぶ樽三本と 藤原静子  
ピンク模様の二本編みこみ石狩の  
妹より届くスネックウオーマー 森山ヤヨイ  
生きゆくに楽しみくれる野菜たち  
今夜はおでんよダイコン、ニンジン 村谷三恵  
新らしきステップは成功フマネット  
ハイタッチする柔かき手よ 安済哲子  
気まぐれの天気となるや朝虹の  
庭を色どり老いおも彩る 橋本佳代子

# じょうほうかわらばん



町文化センターで、第1回から第73回清水町成人式の集合写真が展示されました。



図書館エントランスホール展で「清水町書道協会 新春会員作品展」が開催されました。



町文化センター映画会で「夢みる小学校」が上映され、80名が来場しました。



帯広地方法人会清水地区会から、町内小中学校へ学校図書約20万円分が寄贈されました。



清水御影アイスホッケー少年団が全道大会で準優勝に輝き、町長・教育長へ報告に訪れました。



十勝管内で初めて、日本生命保険相互会社道東支社との包括連携協定が締結されました。

## 令和5年度 消防団出初式開催

令和5年度清水消防団・御影消防団出初式が、1月6日(御影)と7日(清水)に開催されました。6日の御影消防団出初式では御影本通りで団員による分列行進が披露され、7日の清水消防団出初式では市街地の防火巡回が行われました。2日間で合わせて63名の団員が参加し、分列行進や市街地巡回を通して、一年の無病息災を願いました。



町内を行進する御影消防団員のみなさん

## 民泊セミナー開催 つながる魅力を知る

1月13日「十勝清水民泊セミナー」が町ハーモニープラザで開催されました。同セミナーでは、町移住体験住宅のフルリノベーションを手掛けた株式会社良品計画 林高平 空間設計部長や、一般社団法人 シェアリングエコノミー協会 石山アンジュ代表理事などが講話。会場やオンラインで参加した約65名に対し、民泊に関する知識や魅力などを伝えました。



石山アンジュ代表理事による講話

## スピードスケート 中学生2名が全国大会へ

1月6日から7日に開催された中体連スピードスケート大会で、清水中3年の大東礼さんと御影中3年の大野文敬さんが、全国大会への出場を決めました。両選手は16日に山下教育長を訪れ、大東さんは「支えてくれた人たちに自己ベスト記録で応えたい」、大野さんは「スケートを楽しむことを忘れずに自己ベストを出したい」と全国大会への決意を話しました。



御影中3年 大野文敬さん 清水中3年 大東礼さん

## アイスホッケー国際大会へ3選手が挑戦!!

### 2023IIHF女子U18世界選手権

梅森遥愛 選手(清水高3年)・寺内姫夏 選手(御影中2年)

高須クリニック御影グレッズ所属の梅森選手と寺内選手が、IIHF 女子 U18 世界選手権に出場しました。同選手権は1月7日からスウェーデンで開催。昨年、役場へ出場報告に訪れた際、阿部町長の「日頃から、よく点数を決めているのでしょうか?」という質問に、梅森選手は「世界選手権でも決めてきます!!」と力強く答えていました。



出場報告に訪れた寺内選手(左)・梅森選手(右)

※IIHF：国際アイスホッケー連盟

### 第63回PeeWeeケベック国際大会

中村史翔 選手(御影小6年)

清水御影アイスホッケー少年団キャプテンの中村選手が、第63回PeeWeeケベック国際大会に出場。同大会は2月8日からカナダで開催されました。1月に役場へ出場報告に訪れた中村さんは「ジャパンセレクト(日本選抜)に選ばれて、すごくうれしいです。大会では6点以上取って、優勝したいです!」と意気込みを話していました。



出場報告に訪れた中村選手(中央)

## ドラッカーを読む 中央公民館講座開催

1月18日に、町中央公民館で「第一回『ドラッカーを読む』入門」を開催。同講座は令和4年度清水町中央公民館講座の一つで、講師として清水高校の岩澤健治教諭を招きました。岩澤教諭は、ピーターF・ドラッカーの生い立ちや思想、著書の特徴や読み方について講話しました。第二回では、ドラッカーの著書『プロフェッショナルの条件』の読書会が行われます。



岩澤健治教諭による講話





令和5年1月8日 第74回清水町二十歳の祝典



56名が晴れやかな門出を迎えました——



広報しみず768号  
学習情報ゆう・える491号

●発行 北海道清水町 ●編集 企画課広報広聴係 ☎0156(62)2114  
●発行・編集 清水町教育委員会 ☎0156(62)5115  
◆北海道清水町ホームページ <https://www.town.shimizu.hokkaido.jp/>